

令和4年 畑作・野菜病害虫発生情報 第26号  
作物名：大豆（8月下旬）

県内全域で吸実性カメムシ類の寄生が多いです。  
県南地域でウコンノメイガによる食害が目立っています。

1. わい化病（発生量：少ない）

津軽地域、県南地域ともに発生が確認されなかった。

わい化病の発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率（%）					発生地点率（%）	発病面積率（%）
				甚	多	中	少	微		
8月下旬	津軽	本年	13	0	0	0	0	0	0	0
		前年	13	0	0	0	0	0	0	0
		平年	15	0	0	0	0	7.5	7.5	0.0
	県南	本年	8	0	0	0	0	0	0	0
		前年	7	0	0	0	0	0	0	0
		平年	6	0	0	0	1.7	15.3	17.0	0.2

注) 発生程度：甚 発病株率50%以上、多 同31~50%、中 同11~30%、少 同1~10%、微 同1%未満

2. ベと病（発生量：少ない）

県内全域で発生地点率、発病葉率ともに平年より低かった。

べと病の発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率（%）				発生地点率（%）	発病葉率（%）
				甚	多	中	少		
8月下旬	津軽	本年	13	0	0	0	69.2	69.2	5.3
		前年	13	0	0	61.5	38.5	100	26.0
		平年	16	0	0	21.4	64.5	85.9	12.4
	県南	本年	8	0	0	0	37.5	37.5	1.1
		前年	7	0	0	14.3	85.7	100	8.7
		平年	6	0	0	15.1	78.2	93.3	13.8

注) 平年値：津軽地域は2016年を除いた過去7か年、県南地域は過去8か年の平均値

発生程度：甚 発病葉率76%以上、多 同51~75%、中 同26~50%、少 同25%以下

3. アブラムシ類（発生量：平年並）

津軽地域では発生地点率が平年より高く、寄生虫数は平年並であった。

県南地域では発生地点率が平年より高かったが、寄生虫数はやや少なかった。

アブラムシ類の発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率（%）				発生地点率（%）	1複葉当たり寄生虫数（頭）
				甚	多	中	少		
8月下旬	津軽	本年	13	0	0	0	23.1	23.1	0.15
		前年	13	0	0	0	0	0	0
		平年	16	0	0	5.7	5.0	10.7	0.18
	県南	本年	8	0	0	25.0	0	25.0	0.38
		前年	7	0	0	0	0	0	0
		平年	6	0	2.0	5.7	3.3	11.0	0.65

注) 平年値：津軽地域は2016年を除いた過去8か年、県南地域は過去9か年の平均値

発生程度：甚 1複葉当たり虫数51頭以上、多 同11~50、中 同1~10、少 同1未満

#### 4. 吸実性カメムシ類（発生量：多い）

津軽地域、県南地域ともに発生地点率が高く、寄生数も多かった。

##### 吸実性カメムシ類の発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率（%）				発生地点率（%）	25株当たり寄生数（頭）
				甚	多	中	少		
8月下旬	津軽	本年	13	0	0	0	15.4	15.4	0.06
		前年	13	0	0	0	7.7	7.7	0.02
		平年	16	0	0	0	5.9	5.9	0.03
	県南	本年	8	0	0	0	25.0	25.0	0.06
		前年	7	0	0	0	0	0	0
		平年	6	0	0	0	5.0	5.0	0.02

注) 平年値：津軽地域は2016年を除いた過去9か年の平均値

発生程度：甚 25株当たり虫数51頭以上、多 同26～50頭、中 同6～25頭、少 同1～5頭

#### 5. ウコンノメイガ（発生量：津軽…少ない、県南…多い）

1株当たりの葉巻数は、津軽地域で平年より少なく、県南地域で平年より多かった。

##### ウコンノメイガ幼虫による葉巻症状の発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率（%）				発生地点率（%）	株当たり葉巻数（枚）
				甚	多	中	少		
8月下旬	津軽	本年	13	0	0	0	46.2	46.2	0.10
		前年	13	0	0	7.7	30.8	38.5	0.17
		平年	16	0.7	4.3	13.9	44.5	63.4	0.77
	県南	本年	8	0	0	50.0	50.0	100	1.26
		前年	7	0	0	42.9	42.9	85.7	0.89
		平年	6	0	3.3	22.6	47.0	72.9	0.76

注) 平年値：津軽地域は2016年を除いた過去9か年の平均値

発生程度：甚 株当たり葉巻数11枚以上、多 同6～10枚、中 同1～5枚、少 同1未満

#### 6. その他のチョウ目幼虫（発生量：少ない）

津軽地域の被害葉率は平年よりやや低く、県南地域の被害葉率は平年より低かった。

主な加害種はツメクサガ、オオタバコガ、ウワバ類であった。

##### チョウ目幼虫による食害状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率（%）				発生地点率（%）	幼虫捕獲数（100株相当）	被害葉率（%）
				甚	多	中	少			
8月下旬	津軽	本年	13	0	0	46.2	53.8	100	1.4	19.5
		前年	13	0	0	38.5	61.5	100	0.8	22.7
		平年	16	4.3	9.7	31.3	53.5	98.7	4.4	27.0
	県南	本年	8	0	0	0	100	100	1.5	9.2
		前年	7	0	14.3	42.9	42.9	100	1.4	31.0
		平年	6	0	6.4	18.0	68.6	93.0	2.7	16.2

注) 平年値：津軽地域は2016年を除いた過去8か年、県南地域は過去9か年の平均値。

発生程度：甚 被害葉率76%以上、多 同51～75%、中 同26～50%、少 同25%以下

幼虫捕獲数は、すくい取り(100株相当)による”ツメクサガ、オオタバコガ、ウワバ類、ヨリ類等”の捕獲総数の平均値。

すくい取りによる捕獲幼虫の内訳

地域	調査地点数	総捕獲数(頭)	幼虫種別捕獲数(頭)					
			ウコンノメイガ	ツメクサガ、オオタバコガ	ウリバ類	ヨトウガ	ハスモンヨトウ	その他
津軽	13	18	0	6	12	0	0	0
県南	8	12	0	4	7	0	1	0
県計	21	30	0	10	19	0	1	0

(参考) 性フェロモントラップにおけるオオタバコガ雄成虫の半旬別誘殺数

設置場所	月 半旬	6月						7月						8月						9月					
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
つがる市 (森田中田)	2022					7	4	3	5	3	26	15	8	19	16	18	4	13							
	2021	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	60	153	59	19	48	57	33	40	179	102	123	88	37	13
	平年	1	2	3	4	7	4	7	6	8	13	25	53	50	45	49	47	44	53	76	72	68	52	35	16
十和田市 (赤沼)	2022					4	3	0	0	0	2	0	0	6	12	8	15	13							
	2021		0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	2	1	15	0	0	0	1	4	6	17	23	22	5
	平年	4	3	7	4	4	1	2	3	5	12	15	30	31	38	53	48	64	58	61	60	91	64	38	31

注) つがる市の平年値はつがる市下牛湯における2012年～2018年の値及びつがる市森田中田における2019年～2021年の値の平均値。

(参考) 性フェロモントラップにおけるハスモンヨトウ雄成虫の半旬別誘殺数

設置場所	月 半旬	6月						7月						8月						9月					
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
つがる市 (森田中田)	2022					4	403	503	584	109	12	0	6	210	356	422	550	280							
	2021	5	16	6	2	0	0	1	92	112	187	258	276	174	46	194	446	635	561	566	171	211	26	26	11
	平年	3	10	10	5	11	15	24	67	62	83	95	110	168	76	313	348	261	218	246	315	142	117	60	61
十和田市 (赤沼)	2022					6	368	528	72	7	8	3	2	33	210	620	750	400							
	2021		10	3	0	0	2	2	9	15	21	103	153	50	25	6	46	48	230	235	92	121	100	44	11
	平年	1	7	4	4	5	5	32	37	17	9	37	58	52	185	31	137	113	158	98	67	83	154	144	59

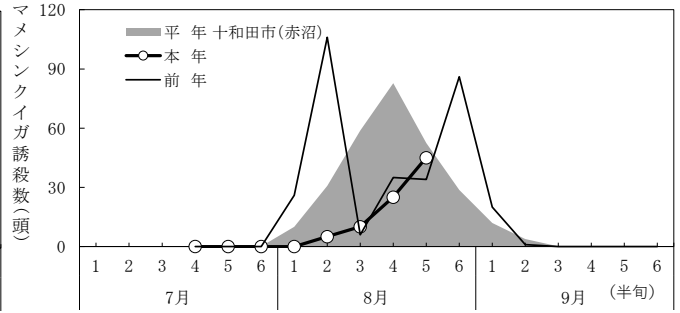
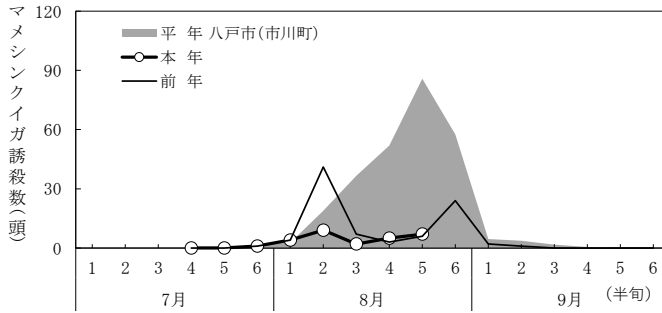
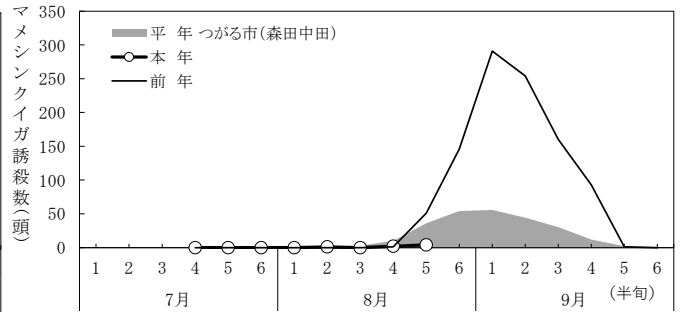
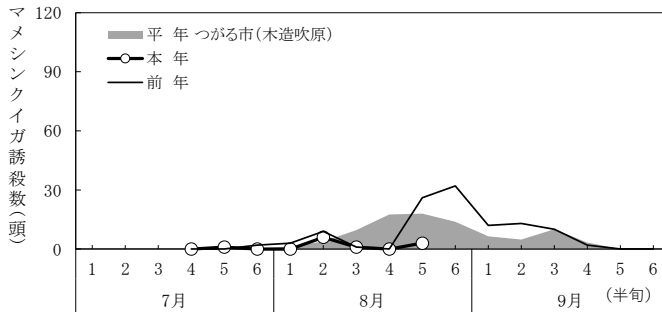
注) つがる市の平年値はつがる市下牛湯における2012年～2018年の値及びつがる市森田中田における2019年～2021年の値の平均値。

7. マメシクイガ

津軽地域2地点の誘殺数は平年より少なく推移している。  
 県南地域では十和田市赤沼で誘殺数が増加している。

性フェロモントラップにおけるマメシクイガの誘殺推移

設置場所	月 半旬	7月						8月						9月										
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6					
つがる市 (木造吹原)	2022					0	1	0	0	6	1	0	3											
	2021					0	0	2	3	9	1	0	26	32	12	13	10	2	0	0				
	平年			0	0	0	0	1	4	10	18	18	14	6	5	10	3	0	0					
つがる市 (森田中田)	2022					0	0	0	0	1	0	2	4											
	2021					0	0	0	0	0	0	1	51	146	291	254	160	93	1	0				
	平年			0	0	0	0	0	1	3	10	36	54	56	44	30	12	2	1					
八戸市 (市川町)	2022					0	0	1	4	9	2	5	7											
	2021					0	0	1	4	41	7	3	6	24	2	1	0	0	0	0				
	平年			0	0	0	2	3	19	37	52	86	58	5	4	2	1	0	0					
十和田市 (赤沼)	2022					0	0	0	0	5	10	25	45											
	2021					0	0	0	26	106	6	35	34	86	20	1	0	0	0	0				
	平年			0	0	0	0	10	31	59	83	52	29	12	4	0	0	0	0					



注) マメシンクイガ図表の平年値は、木造吹原は木造下福原での過去6か年、森田中田及び八戸市は過去8か年、十和田市は過去9か年の平均値。

県民の皆さまへのお願い  
新型コロナウイルス感染拡大防止



<https://www.pref.aomori.lg.jp/koho/covid19kakudaiboushi.html>

《当情報に関する問い合わせ先》  
青森県病害虫防除所 TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900  
〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6 担当: 技師 佐藤香緒里